

令和3年度 福井県立若狭高等学校(全日制)スクールプラン

福井県教育委員会

「一人一人の個性が輝く、ふく
いの未来を担う人づくり」

福井県教育振興基本計画の基
本理念

教育目標：「異質のものに対する理解と寛容の精神」を養い、教養豊かな社会人の育成を目指す

努力目標

- 1、地域資源活用型探究学習による地域と世界を結ぶ科学技術人材の育成
- 2、Student Agency の育成
- 3、Co-Agency の育成

学校業務改善のための取組

- ・部活動休業日の遵守。協同管理による役割分担。
- ・ノーマル業デーの遵守。
- ・年休取得促進。
- ・校務分掌および業務の見直し。

人権教育の推進

- ・教育活動全体を通して、人権尊重の精神に基づき、生徒・職員ともに人権意識の高揚に努める。

重点目標

教育課程・学習支援	PTA・同窓会・地域との連携・式典統括・環境整備	図書・情報等の管理と発信	生徒のキャリアサポート	探究的な学習の推進	自主・自立の精神、他者の敬愛と協力の精神の育成	保健管理・教育相談	各部署・各学科・各学年との連携によるきめ細かな生徒支援
教務部	庶務部	図書情報センター	キャリアサポートセンター	SSH・研究部	生徒支援部	保健部	学年会
①カリキュラムの開発および管理と教育効果の検証 ②教職員の教科指導力および授業力の向上 ③生徒の学習意欲の喚起と学力の向上	①PTA・同窓会・地域住民との連携による「開かれた学校」づくり ②入学式、卒業式、周年行事等式典の統括 ③教室・職員室の配置等の環境整備	①ICT教育環境整備 ②校内外への情報発信 ③図書の管理・読書活動の推進 ④各種データ収集 ⑤研究誌等の編纂	①生徒一人ひとりに応じたキャリア発達・キャリア形成・キャリア実現の支援 ②国内外の大学の情報収集と教職員・生徒・保護者への情報提供 ③多様な入試制度の研究と具体的な対策の実施	①探究的な学習の充実による生徒の課題発見能力の育成 ②国内外の高校・大学等との連携による探究的な学習の推進 ③SSH・OECDISN等の取組によるカリキュラム開発と評価方法の研究開発	①自尊心・愛他心の育成 ②自律心と規範意識の醸成 ③生徒会活動の推進 ボランティア活動の推進 部活動の推進	①生徒の健康や体力増進に対する意識の向上 ②学習環境の整備 ③清掃等に自主的に取り組む姿勢の育成 ④校内各部署・各学年会や外部専門機関との連携による、悩みや問題を抱えた生徒への迅速かつ適切な対応	①生徒相互・生徒と教員の信頼関係に基づく安心で安全なクラス・学年の運営 ②各部署・各学科・各学年会・各教科との連携による生徒のキャリア発達・キャリア形成キャリア実現の支援 ③保護者との綿密な情報交換による信頼関係の構築 ④担任・副担任団全員によるきめ細かな生徒支援

具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組
①生徒の生活実態や学習状況を把握し、計画的・継続的な学習ができるよう指導する。 目標 計画的な家庭学習が実行できた生徒 80%以上 ②公開授業や教科会などでの研修・研究を充実させ、生徒が主体的に学べる授業実践に努め、授業力向上を目指す。 目標 主体的な学びを促進する授業実践 80%以上	①PTA総会、各委員会活動、同窓会総会などの場で積極的な広報が心がけ意見交換の充実を図る。 目標 PTA総会紙面回答率90%以上。 ②コロナウイルス感染防止に配慮した式典の運営に努める。 目標 コロナウイルス感染防止に配慮した式典の準備・進行を行う。 ③安全で快適な学校生活のための施設設備の整備点検に努める。 目標 毎学期安全点検を実施する。	①オンライン授業や会議の充実のため設備を充実させると共に、生徒及び教員の意識改革を図る。 目標 ②HPの充実を図ると共に、ツイッターを活用する。 ③読書案内や新刊図書の情報を充実させ、図書室の利用者数の増加を図る。 目標 生徒の読書案内等の利用率 80%以上 ④蔵書数や内容を充実させ、生徒の図書利用を促進する。 目標 生徒の蔵書満足度 80%以上	①志望実現に向けての面談や進路関連行事を充実させた確・適切な支援に努める。 目標 志望分野への進路実現ができた生徒 90%以上 ②入学試験や就職選考試験を分析し、求められている能力の向上・育成に努める。 目標 調査・模擬試験等を見直し、弱点克服につなげることができた生徒 80%以上 ③多様化する入試制度に関する情報収集に努める。 目標 キャリアサポートセンターが発信した情報によって、入試制度に関する理解を深めることができた生徒 80%以上	①教科「探究」に関する授業研究を組織的に行うために、「探究」の各科目のリーダーと探究科主任が定期的に打ち合わせを行う。 ②教科「探究」に関する授業力の向上を図るため、各科目内の授業担当者が定期的に打ち合わせを行い、授業のあり方について研究を深める。 目標 教科「探究」にて課題発見能力を獲得したと認められる生徒が80%以上 ③特別活動の推進と充実を目指す。 目標 生徒会行事・部活動への積極的な参加や取り組みができた生徒90%以上を目指す。	①多様性の大切さを理解させることに努め、思いやりや助け合いの精神、実践力を育成する。 目標 差別やいじめなど、心身を傷つけるような案件の発生を限りなくゼロに近づける。 ②8時20分までに教室に入ることを奨励し、5分前行動を習慣づける。 目標 不注意による遅刻がゼロの生徒90%以上を目指す。 ③特別活動の推進と充実を目指す。 目標 生徒会行事・部活動への積極的な参加や取り組みができた生徒90%以上を目指す。	①検診結果をもとに自己の健康状態を把握させ、日常的に生徒自ら健康管理ができるように努める。 目標 生徒の健康管理・体力増進に対する意識向上率 80%以上 ②時間いっぱい清掃に取り組ませるとともに、教室や身の回りの整理整頓、ごみの分別など環境整備に努める。 目標 生徒の自主的・積極的な清掃取組み率80%以上	①担任が方針を明確にし、生徒が協働して活動できる学習環境を整える。 目標 生徒が協働して活動できるLTを実施 80%以上 ②キャリア実現に向け、3年間を見据えた計画・実施・再検討を各学年団で共有する。 目標 進路研修や進路LTを通して、自身の進路について考えを深めることができた生徒 80%以上 ③日頃の保護者連絡および保護者会での情報共有を密にし、地域や保護者へ教育内容を分かりやすく提示する。 目標 保護者会の満足度 80%以上